



2012年11月

お取引先 各位

日本アクアラング株式会社
神奈川県厚木市温水2229番4
TEL.(046)247-3222 FAX.(046)247-3225

スクーバ容器ご使用上の注意事項

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。毎度格別のお引き立てに預かり誠にありがとうございます。

皆様にはいつもスクーバ容器をご愛用いただきありがとうございます。

さて、昨年起こりましたスクーバ容器(スチール製)の破裂事故の概要を報告させていただき、今後も安全にご使用いただく為の下記注意事項をご参照いただきます様お願い申し上げます。

今回の破裂事故は、容器及びバルブの法定再検査が容器製造時から約12年間実施されず、繰り返し充填がおこなわれていました。使用後の容器管理も水洗いがされておらず内外面ともに腐食が進み、破断面の肉厚計測は正常約5mmあったものが約1mmに減肉し最高充填圧力に耐えられなかった事が原因です。

スクーバ容器(スチール製)は水中での重量バランス(浮力)を考慮して作られていますので、肉厚は前述の通り5mm程度しかありません。内面にはメッキ処理、外面にはメタリコン塗装が施されていますが、保守点検・管理が十分でないと、素材が鉄ですから直ぐに腐食(サビ)を生じます。事故を未然に防ぐには、お客様に自主管理の強化をお願いする以外にございません。特にご注意いただきたいことを列記させていただきますのでご一読ください。

(注意事項)

スクーバ容器（スチール、アルミ製）及びバルブは高圧ガス保安法の基準により5年ごとに再検査を受けなければなりません。更にスクーバ用アルミ製容器は、1年ごとにネジ部の目視検査が義務づけられています。

スクーバ容器（スチール、アルミ製）を年1回ごとに容器からバルブを外し、内部目視検査を実施してください。

バルブは年1回ごとにオーバーホールを実施してください。消耗部品（ディスク弁、ステム、Oリング、パッキン等）は、当社純正部品と必ず交換してください。

容器の使用後は真水洗い等の手入れをし、乾燥させてください。

容器を保管する場合、内圧を0.5~1MPa(5~10bar)程度残し、中に湿気が入らないようにし、乾燥した場所に保管してください。

内圧がゼロの容器は必ずバルブを外し、内部目視検査を実施してください。

使用頻度の高い容器は、適当期間(3~5年)で新しい物に取り替えてください。使用頻度の低い場合でも10年以内に取り替えていただく事をお薦めいたします。

容器及びバルブの法定再検査はご使用を保証するものではありません。法定再検査に合格しても、その後5年間の使用に耐えられないと思われるものは廃棄してください。

アルミ製容器に関しては、焼き付け塗装は絶対に施さないでください。

170 以上になると材質変化を起し強度が弱くなり、使用できなくなります。

安全を第一に考える当社の本旨をご理解いただき、事故を未然に防いでいただきますようお願い申し上げます。敬具